

日本語「一目ぼれ・台湾 跟著 YINKA 走台灣」

東方美人茶（とうほうびじんちゃ）・香檳烏龍茶(シャンピンウーロンちゃ)

本文：

「東方美人」は台湾を代表するウーロン茶の一つです。この東方美人の誕生には、ある被害がかかわっています。19世紀の中ごろ、茶畑が多い新竹で、害虫のウンカが大発生しました。この害虫の被害で使い物にならなくなった茶葉（ちゃば）を製茶してみたら、蜜のような甘い香りがして、すぐさま評判になりました。これが「東方美人」の誕生でした。お茶の葉がこの害虫の分泌物（ぶんぴつぶつ）で二次代謝を起こし、独特の香りや色素（しきそ）を発生させるというわけです。まさに災い転じて福となす。東方美人は害虫の害を逆利用したものであったのです。産地は新竹、苗栗地方に集中しています。ウンカが飛来（ひらい）する5,6月の夏の短い期間だけに作られる貴重なお茶で、ウンカに食われた葉の部分を1枚1枚手摘みで収穫します。東方美人は発酵度が高く紅茶に近い味わいで、琥珀色（こはくいろ）のきれいなお茶です。ブランデーを数滴垂らしたおしゃれな味わい方も人気です。

単語・慣用語

ウンカ（浮塵子；白蠟蟲；小緑葉茶蟬）

災（わざわ）いを転じて福となす。（轉禍為福）中国史書「戦国策」燕策から

キーワード：ウンカ